

図書館だより

No. 76

☆5月・6月の開館予定です（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
5/11 休館	1 2 正○ 共◎	1 3 正○ 共◎	1 4 正○ 共◎	1 5 正休 共◎	1 6 正休 共◎	1 7 共△
1 8 休館	1 9 正○ 共◎	2 0 正○ 共◎	2 1 正○ 共◎	2 2 正○ 共◎	2 3 正休 共◎	2 4 休館
2 5 休館	2 6 正休 共◎	2 7 正○ 共◎	2 8 正○ 共◎	2 9 正○ 共◎	3 0 正○ 共◎	3 1 休館 中・説明会
6/1 休館	6/2 正○ 共◎	6/3 正○ 共◎	6/4 正○ 共◎	6/5 正○ 共◎	6/6 正○ 共◎	6/7 休館
6/8 休館	6/9 正○ 共◎	6/10 正○ 共◎	6/11 正○ 共◎	6/12 正○ 共◎	6/13 正○ 共◎	6/14 休館
6/15 休館	6/16 正○ 共◎	6/17 正○ 共◎	6/18 正○ 共◎	6/19 正○ 共◎	6/20 正○ 共◎	6/21 中オープン キャンパス

開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）

〇7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

日本人初「アーベル賞」受賞

「数学のノーベル賞」と言われるアーベル賞
2025 を京都大学特任教授の柏原正樹さんが5/20
受賞します。数学に興味を持ったのは10歳の時、
家にあった百科事典の代数の項目を読み「 x や y
を使ってどんな問題も解ける代数の強さにひかれ
た」のだそうです。柏原さんにとって「数学は美
しいもの、物事を抽象化して現象をうまく捉える
そこに美しさがある」と述べています。

✓数学特集 数学科教師陣の推し本です！（推薦文もご本人です。50音順）

『**数学する身体**』（森田真生・著）・・・「数学」と「身体」一とてつもなくかけ離れて見えるこの二つの世界が、実はどこか深く交わっているのではないかと。新しい発見や気づきを1つでも分かち合いたい。（進藤先生の推し本）

『**笑わない数学**』（NHK「笑わない数学」班）・・・パンサー尾形貴弘さんが難解な数学の世界を大真面目に解説する異色のエンターテインメント番組として幅広い人々に受け入れられたNHKの人気番組「笑わない数学」が書籍化されています。カラーの図が多く入っており読みやすい構成になっています。数式もありますが飛ばして読んでも内容が分かるように工夫されていますので、数学嫌いの人も是非読んでみてください。（関口先生の推し本）

『**文系でも思わずハマる数学沼**』（鶴崎修巧・著）・・・日常生活の様々な場面で数学が使われていることを紹介しています。難しい数式や計算も無く一つ一つの項目が独立しているので手軽に読める内容です。（田島・新井先生の推し本）

『**とんでもなく役に立つ数学**』（西成活裕・著）・・・東京大学教授の作者が4日間にわたり高校生に特別講義した授業の様子を書籍化したものになります。身近なものや数学の関わりについて分かりやすく講義されています。数学嫌いな人でも読んでほしい1冊です。（長谷川先生の推し本）

『**博士の愛した数式**』（小川洋子・著）・・・交通事故による脳の損傷で記憶が80分しか持続しない元数学者「博士」と家政婦である「私」とその息子「ルート」の心のふれあいを美しい数式と共に描いた作品。（吉原先生の推し本）

今月の『Newton』（6月号）

数式こそが万物の真理なのか「宇宙×数学」

「**宇宙という書物は数学という言葉で書かれている**」は科学の父ガリレオ・ガリレイの言葉です。

特集記事では宇宙と数学の関係を様々な角度から探り両者の神秘的な関係に迫ります。

数学者「山下真由子」氏

コミュニケーションが苦手な高校を中退して通信制高校へ。時間の余裕がある折、出会ったのが図書館にあった「数学オリンピックの過去問」。そこから躍進、東大3年には飛び級で大学院へ。博士課程途中で京大助教に就任。現在はペリメーター理論物理学研究所で従事しています。氏にとって「数学は自分が生き生きとコミュニケーションを取れるものであり、また、数学に人生を救われている」と語っています。